

国家ライセンス実地試験について

いよいよ、12月5日から無人航空機の国家ライセンスが創設されます。未だに登録講習機関、いわゆる国家ライセンスが受講できるスクールが発表されていませんが、実地試験の内容が発表されていますので皆様の参考になればと思い、簡潔にまとめてみました。尚、学科試験の詳細は発表されないと思います。また、下記実地試験の内容は、基本試験とし夜間・目視外は含みません。

記

□試験の流れ（一等・二等共通）：①机上試験

②口述試験（飛行前点検）

③実技試験

④口述試験（飛行後の点検及び記録）

⑤口述試験（事故、重大インシデントの報告及びその対応）

□一等、二等共に減点方式：合格ライン 一等／100点中80点以上 二等／100点中70点以上

即時不合格／航空法等の違反、危険な飛行、墜落・損傷・制御不能、飛行空域逸脱、制限時間超過、
操作介入、不正行為

減点／飛行経路逸脱、指示と異なる飛行、離着陸不良、監視不足、安全確認不足、ふらつき、不円滑、
機種方向不良

□減点基準：①机上試験／一等：5問（1問5点）**制限時間10分** 二等：4問（1問5点）**制限時間5分**

②口述試験（飛行前点検）／確認、記載漏れ、誤りが一つでもあれば10点減点

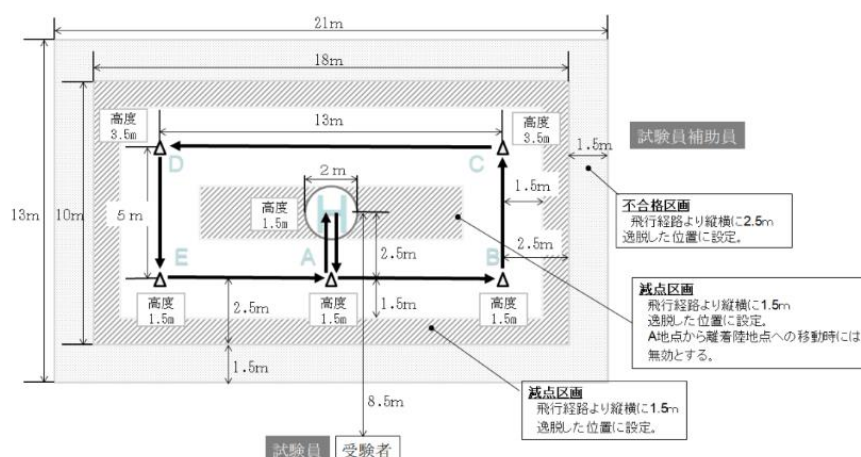
③実技試験／一等：高度変化を伴うスクエア飛行（減点区画、不合格区画あり）**制限時間6分**

ピルエットホバリング（減点区画、不合格区画あり）**制限時間3分**

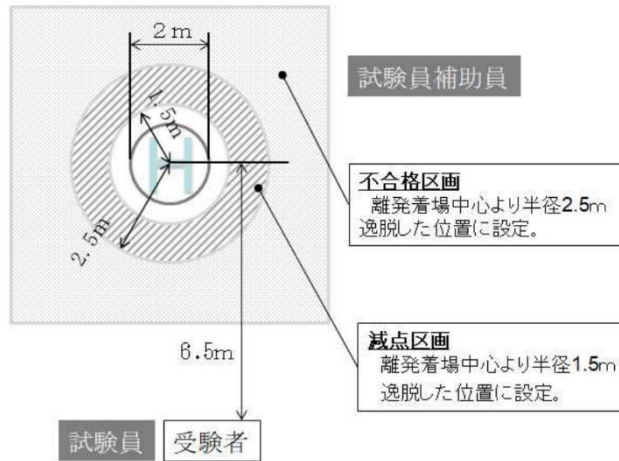
緊急着陸を伴う8の字飛行（減点区画、不合格区画あり）**制限時間5分**

※全てGPS等の水平方向維持のセンサーをOFFにして行う

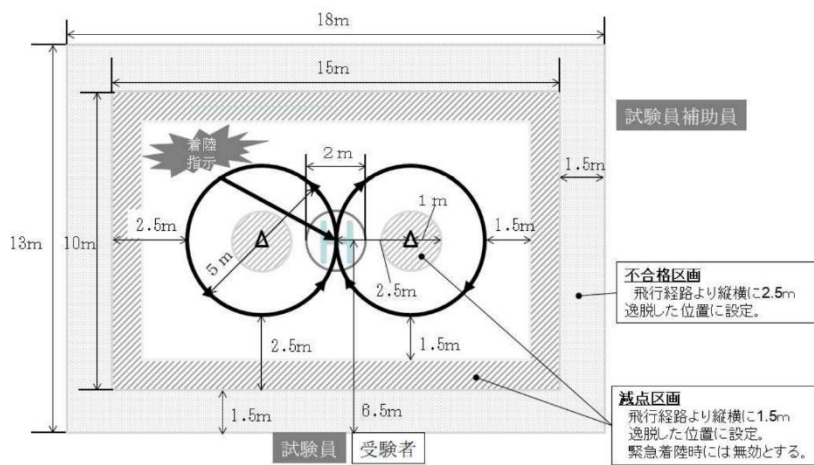
4-1 高度変化を伴うスクエア飛行の飛行経路



4-2 ピルエットホバリングの飛行領域

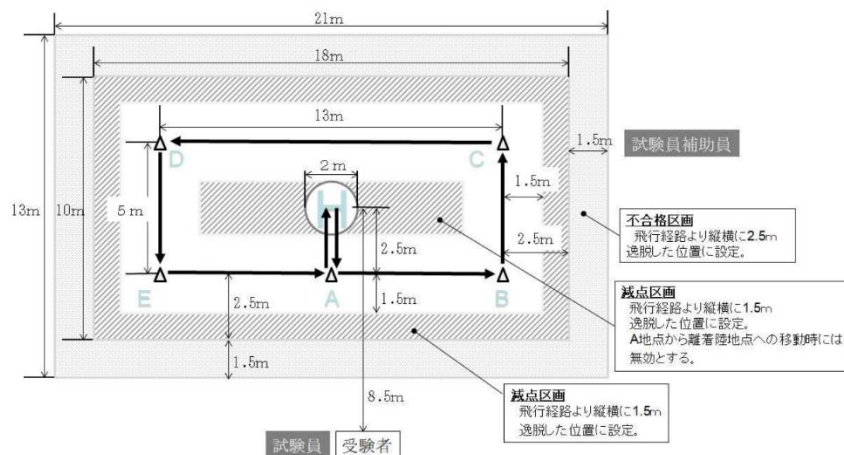


4-3 緊急着陸を伴う8の字飛行の飛行経路

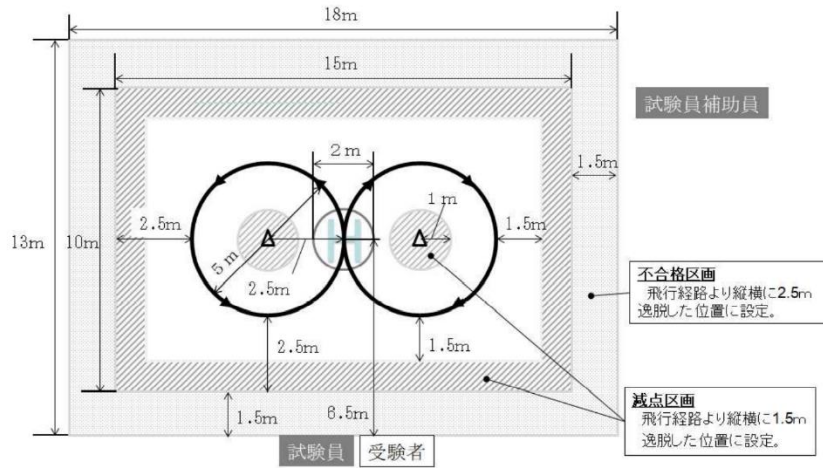


- ③実技試験／二等：スクエア飛行（減点区画、不合格区画あり）制限時間8分
 8の字飛行（減点区画、不合格区画あり）制限時間8分
 異常事態における飛行（減点区画、不合格区画あり）制限時間6分
※全てGPS等の水平方向維持のセンサーをOFFにして行う

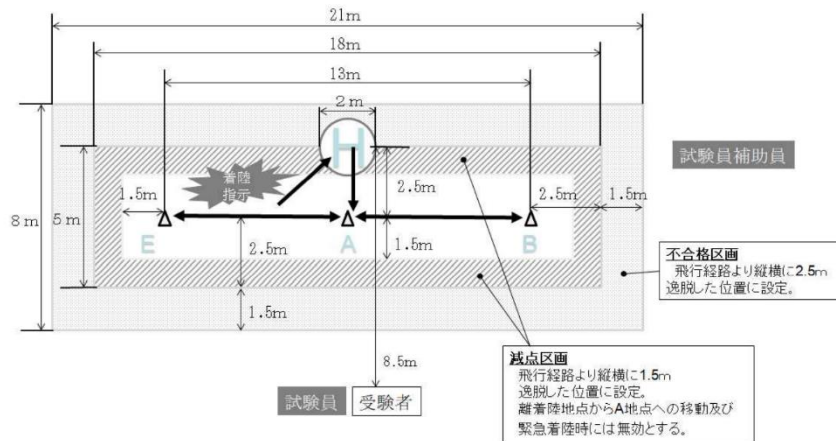
4-1 スクエア飛行の飛行経路



4-2 8の字飛行の飛行経路



4-3 異常事態における飛行の飛行経路



- ④口述試験（飛行後の点検と記録）／記載漏れ、誤りが一つでもあれば5or10点減点
 - ⑤口述試験（事故、重大インシデントの報告）／口頭又は記入で回答 誤りがあれば5点減点
- 制限時間 3分**

以上

詳しくは下記URLをご確認ください。

<https://ua-remote-pilot-exam.com/guide/multirotor/>

かなり難しいですね...

全く練習せずに経験者コースを受講しても恐らく合格は無理だと思います。9月以降の受講者様には伝えていますが、一等の飛行方法をした方は必ず一等ライセンスを取得しなければいけません、二等は、二等ライセンスでなければ飛行できないという制限はありません。DIPSの申請をするか不要になるかの違いです。すでに民間ライセンスをお持ちの方やこれから受講を考えられている方は、焦らず十分練習されて自信を付けてから国家ライセンスへの移行にチャレンジしても遅くはないと思います。練習あるのみですね！